

こちら

議会広報部

2010.1
第20号

発行／周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL：0820-74-1003(議会事務局)
編集／議会広報編集特別委員会
印刷／(有)日良居タイムス

今回の主な内容

- 12月定例会……………1～3P
- 一般質問、町政転流 ……4～7P
- 新年の抱負……………8P
- 委員会視察報告……………9P
- その他 ……………10P



めざせワールドカップ！ 岩政選手に続け！（2010.1.4 周防大島陸上競技場）

12月定例会

6施設の指定管理者（優先交渉権者）決定！

平成21年第4回定例会が12月11日から18日までの8日間の日程で開かれました。

本定例会では、人権擁護委員に関する諮問2件、補正予算（一般・特別・公営企業の各会計）9件、条例の制定・一部改正6件、一部事務組合等に関する件3件、公共施設等の指定管理者の指定に関するもの6件、動産の買入れ6件、工事請負契約の変更1件などの町長提出の33議案と議員提案1件について慎重に審議し、全

件原案どおり可決いたしました。

また、一般質問では、7名が登壇し、「定住対策」、「イノシシ被害対策」等々、15の項目について考えをいただきました。

補正予算関係では、職員等の給与の減額を行なうなど、一般会計で342万9千円を追加、特別会計で国民健康保険事業特別会計の9,180万2千円の追加などが主なものであります。

12月定例会

諮問 2件とも可決

奥原法城氏（秋）・松本敏恵氏（日前）を人権擁護委員とすること。

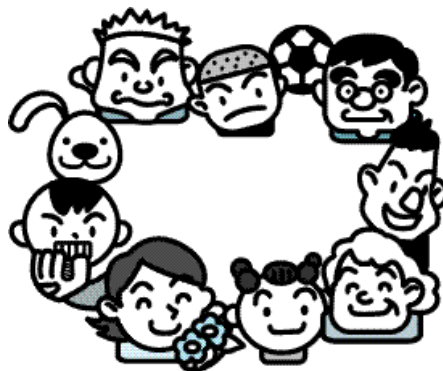
条例の制定・一部改正

制 定

- ・周防大島町立小・中学校施設使用条例

一部改正

- ・周防大島町個人情報保護条例
- ・周防大島町営渡船設置及び運営に関する条例
- ・周防大島町手数料徴収条例
- ・周防大島町斎場条例
- ・周防大島町簡易水道事業給水条例



規約の変更等

- ・山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更
- ・山口県市町総合事務組合の財産処分
- ・山口県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少に関する協議

平成21年度補正予算可決

下表のとおり、9件の補正案を可決した

会 計	補 正 額	補正後の総額
一般会計	342万9千円	161億8,298万4千円
国民健康保険事業特別会計	9,180万2千円	34億1,666万2千円
後期高齢者医療事業特別会計	▲210万3千円	4億9,481万5千円
介護保険事業特別会計	▲2,263万6千円	30億5,786万3千円
簡易水道事業特別会計	▲4万5千円	10億6,107万4千円
下水道事業特別会計	▲299万8千円	5億817万9千円
農業集落排水事業特別会計	30万1千円	3億7,973万1千円
渡船事業特別会計	▲58万6千円	7,898万9千円
公営企業局企業会計		
収益的収入	▲2億1,140万3千円	42億9,875万5千円
支出	▲1億5,551万2千円	42億9,796万8千円
資本的収入	2,000万円	29億64万5千円
支出	2,000万円	34億314万5千円
債 務 負 担 行 為		
統合に伴うスクールバス運行業務委託事業	H22年度～H23年度	3,700万円
スクールバス白木線運行業務委託事業	H22年度～H23年度	3,000万円
陸奥野営場、陸奥記念館、なぎさ水族館指定管理料	H22年度～H24年度	1,138万2千円
サン・スポーツランド片添、片添ヶ浜温泉遊湯ランド、青少年旅行村指定管理料	H22年度～H24年度	1,200万円
久賀歴史民俗資料館、町衆文化伝承の館、町衆文化の薫る郷公園指定管理料	H22年度～H24年度	3,790万円
日本ハワイ移民資料館指定管理料	H22年度～H24年度	750万円

指定管理者（優先交渉権者）決定！（指定の期間 H22.4.1～H25.3.31）

● 優先交渉権者の事業計画 ●

陸奥野営場、陸奥記念館、なぎさ水族館

大野工業（株）

代表 大野 政 夫

- ・なぎさ水族館等の指定管理施設を周防大島の集客・産業・エコの拠点として成長させ、油田地区の限界集落からの脱却を目指すとともに、周防大島の観光交流人口100万人達成の戦力の一つとなる。
- ・なぎさ水族館中心として、エコをテーマにした事業を多目的に展開するエコ・ツーリズムを推進する。また、自社の土木建設、デザイン各部門のノウハウを活かした運営を行うとともに地域グループ、地元漁師、フェリー会社、地元アーティスト等と連携・協力し、最終的には若者が戻ってこれるふるさとづくりを目指す。

久賀歴史民俗資料館、町衆文化伝承の館、町衆文化の薫る郷公園

NPO法人周防大島自然体感クラブ

代表 田 中 豊 文

- ・町民の文化拠点、交流の場として位置づけられている当該施設を活用して自主事業を展開するものとし、施設の利用促進につなげることを目的として次の事業を展開する。①歴史文化学習事業 ②生涯学習支援事業 ③企画展事業 ④体験学習事業 ⑤地産地消推進事業 ⑥町衆文化スクール事業など。

周防大島町総合交流ターミナル

（有）サザンセトとうわ

代表 吉 村 正 晴

- ・道の駅という確固たるブランドを有していることを再認識して、広く住民の健全な利用に供し、施設を最大限に活用するべく、その施設環境を整える。
- ・事業の2本柱となる物産販売・郷土料理の提供については過去の実績から、商品の品揃え、メニュー、販売・委託方法、売上・収入、管理方法、人員配置等の運営の基本方針は継続するが、加えて町交流人口100万人の大目標に向け、その他公共施設、公共宿泊施設と連携し、その増大に寄与したい。
- ・総合的な地域物産の集積場所、観光情報の集中中継点として、利便性の高い道の駅としての地位の確保を目指す。
- ・人の集まりやすい楽しい場所であることを前提に、朝市等地元出展者との協同により、お祭り広場的な場所の創出に努力する。
- ・繁忙期の施設定休日も営業するなど、今後も引き続き利用者サービスの向上に努める。

サン・スポーツランド片添、片添ヶ浜温泉遊湯ランド、青少年旅行村

（社）東和ふるさとセンター

代表 藤 野 信 夫

- ・近年、利用者ニーズが大きく変わり、各施設の本来機能の発揮と地域内他施設との連携により、集客力を向上させることが最重要課題であるが、これまでの運営ノウハウを生かすとともに、更なる工夫を凝らして施設の魅力向上を図り、より幅広い利用者サービスの提供に努め、利用者の満足度の向上を図る。
- ・業務のマニュアル化を図るとともに、利用者の要望・苦情処理・利用・維持管理等の状況を記録に残し、町との綿密な協議のもと適切に管理運営を行い、町に対して適宜報告を行う。

日本ハワイ移民資料館

大島国際交流協会

代表 川 野 憲 生

- ・資料館の充実、サービスの向上に努力し、町外からの利用者のみならず町民の利用の増大に努力する。資料館が名実ともに国内有数の文化施設・観光施設になるように努力する。

竜崎温泉潮風の湯

藤 本 グ ル ー プ

代表 藤本敦生、松村良一

- ・地域の皆様に奉仕できる、営利を目的としない社会福祉の経営を行う。なお、今は、社会福祉法人「松風会」の松村理事長と2人で本団体を立ち上げているが、株式会社の設立を考えている。また、町所有施設のため設備投資がない分、利益が出たときは、できる限り町に返還したい。
- ・医師・看護師など、関連する社会福祉法人の先生方の協力を得て、プール等を利用した健康づくり事業を行い、住民等利用者の健康増進を図る。
- ・地元住民との親睦を図るため、フラダンスのイベントほか、新人歌手等を招き、歌を聴きながら食事をしていただくような企画を実施したいと考えている。
- ・危機管理面では、直ちに警察・消防・救急等の関係諸機関に通報し、外部に公表するなど、法的なルートにより問題解決に努める。
- ・当温泉の特異な泉質・湯色を適正に維持し、かつ衛生的な管理を実現させるため、温泉機械設備等の管理は専門業者に委託する。
- ・企画、管理及び修理など、何事も設置者である町と協議しながら行う。

一 般 質 問

定住対策！ 町の方針は…

久保雅己 議員

問 本町の人口の減少は著しく、来年度には、2万人を割ると予測される。人口を増やす事は非常にむずかしいが、放置は出来ない。町の基本政策を問う。



答 (町長) 近年の経済情勢と少子高齢化、人口の一極集中、農漁業の長引く低迷など、さまざまな要因から、人口減少の波を止めることは極めて難しい情勢。本町においては、道路網や上下水道など社会インフラの整備、農漁業の基盤整備、医療・福祉・教育などの生活機能の強化など、

町が推進している施策のすべてを人口定住対策としてとらえ展開しているが、過疎化が進み、定住人口の増加は、なかなか困難。このような中、交流人口の拡大を図ることこそが、定住人口減少を少しでも抑制し地域の活力を高める大きなポイントと考えている。恵まれた自然、歴史と文化という地域の特性を活かし、滞在型・体験型の観光客誘致などを通じて、周防大島の魅力を広く知ってもらい、交流人口が増大することで直接関連する分野だけでなく、広範囲にわたって地域経済への波及効果をもたらすものと期待しており、この経済効果によって所得の向上、地域の活性化を図り、定住人口の減少の抑制につなげていきたい。



三蒲の町営住宅

イノシシ対策に補助を！

神岡光人 議員

問 イノシシによる被害が沖浦地域にも見られるようになったが、町内全体の被害状況と出沒状況は？



また、その被害予防を含めその対策をどのように考えているのかを問う。

答 (町長) 町内全域に出沒している。根菜類を狙った掘り起こしの害。水稻の踏み倒し。たけのこ、さつま芋などの食害。水路、園路など掘り起こしによる崩壊等々。捕獲については、18年度109頭、19年度156頭、20年度240頭と年々増加している。

こうしたことを踏まえ、対策として、捕獲と防御の両面から対応することとし、捕獲については、1頭あたり9千円の捕獲委託金を支払い、頭数の減少に務める。また防御策としては、電気柵やトタン柵の設置に対する材料費の補助を22年度から実施に向け検討をしている。

イノシシの捕獲頭数

	大島地区	久賀地区	橘地区	東和地区	合計
18年度	10	0	22	77	109
19年度	30	0	25	101	156
20年度	81	2	22	135	240
計	121	2	69	313	505

ここが聞きたい!!

7名が登壇

明新橋の歩道の安全対策！ 屋代川に架かる橋梁の安全対策！

今 元 直 寛 議員

問 明新橋の非常に狭い歩道を歩行者、自転車、電動車、車椅子等が利用して危険である。歩道を拡張し安全柵を設置するか、専用歩道橋を新設する等安全対策を講じるべきではないか。



答 (町長) 平成2年度に架け替えられた橋であるが、近年では車椅子2台と歩行者2人がすれ違い可能な歩道もある。明新橋は改良済み区間となっているが、歩道の拡幅、改良は道路管理者である山口県に強く要望する。

問 屋代川の橋梁は老朽橋が多い。このままでは地震、洪水等の大災害には耐えられないと思われる。早急に耐震、耐久調査を実施し安全策を提示して欲しい。

答 (町長) 屋代川に架かる橋を含め、全町の道路橋の損傷を早期発見し安心、安全な交通の確保と共に、被害防止のための点検調査が本年度を目途に業務委託を実施中である。点検中に緊急に補修の必要のある橋梁については今年度予算の範囲で実施する。



明新橋

役場職員の町内居住対策について！

中 村 美 子 議員

問 本町は毎年人口が減少しており、定住化対策として種々の政策を実施している中で、町の職員でありながら町内に居住していない町職員が大勢いる。町民税はもちろん消費などにも大きな影響を与えていると思うが、町外居住の職員は何人いるか。また大きな災害が発生した場合、職員招集の遅れなど業務に支障が出るのではないか。次に居住の自由は憲法に保障されているので町内居住を義務付ける事が出来ないが、人口減少の歯止め対策の一つとして、何ら



かの対策を早急に取り組んでほしい。

答 (町長) 町外居住職員数は、本年4月1日現在で公営企業局職員を除いて29人である。元々町外に住所を有する職員は14人、うち保健師等専門職が10人で、残り15人は町内に住んでいたが、結婚等で町外に転出したものである。

災害発生時の対策については、通常は支障のないように職員体制を整えている。けれど最前線に立つべき町職員が町内に居住することは重要であると職員は認識すべきである。町内に居住することについての重要性を受け止め、啓発していきたい。



一 般 質 問

医療費の無料化中3まで！ 柑橘産地における救済策はないか！

安 本 貞 敏 議員

問 ちびっ子医療費助成事業については、小学校6年生までの無料化を、中学生終了の義務教育終了まで延長できないか。



答 (町長) ちびっ子医療費助成事業については小学校1年生から小学校3年生までの対象を、小学校6年生まで引き上げた。

生まれてから小学校6年生までのすべての子供が所得制限もなく無料化したのは県内でも本町が最初である。

財源の大変厳しい状況下にある。今後と

も医療費の一部を助成することにより、子育て費用の軽減を図り、若者の定住促進に資するため検討努力をして行く。

問 ミカン価格が依然として低迷している現状の中で、今後において足腰の強い方策はないか。

答 (町長) 昨年末、周防大島町とJA山口大島で、山口県に新たな視点に立った生産団地の再編に向けて要望している。

荒廃園対策については大変憂慮しており、遊休農地対策にも取り組み、農地銀行における農地の有効活用に努め、貸し借りや売買にも取り組んでいる。



荒れたミカン園

町政運営の負を追う！

広 田 清 晴 議員

問 総選挙で民主党を中心とする政権が誕生した。私はこの政権は過度的政権と位置づけている(軍事・大企業優先の政治であるが国民要求の一定の前進を含む政権)。又選挙政策が国民に全て支持されたと思わない。



答 (町長) 今回の政権交代が実現したのは、多くの皆さんが社会の不安感・閉塞感・格差に対応できない自民党政治そのものへの不満があったのではないかと考えている。マニフェストについては地域主権の確立、

自主財源(交付税)の大幅拡充等期待する面があるが子供手当の創設に伴う地方負担の問題、各交付金の大幅減額に伴う補てん措置が不明である為地方財政対策について不安がある。

問 周防大島町過疎自立促進計画の策定については町民の意見をしっかりと聞けることが大事。少なくとも旧4町1カ所づつ意見を聞く会をもつことが大事。

答 (町長) 町民の皆様の声を聞き計画に反映する事は当然のことである。色々な方法を考え対応してゆく。

その他 再編交付金に頼らない町づくりの必要性、企業局職員の待遇改善についての給与表のあり方と労働組合確立の問題、地元建設業者の育成とモラルの確立について質問をした。

ここが聞きたい!!

7名が登壇

不妊治療に町独自の補助を望む！ 雑木・竹林の被害対策は！

松井 岑雄 議員

問 本町にも子宝に恵まれず、不妊治療に通う方々がいる。不妊治療には時間も経費もかかり、精神的にも大変苦労されている。国庫補助だけでなく、町独自の追加補助が、どうにか出来ないか。



答 (町長) 不妊治療には、一般不妊治療費助成制度と特定不妊治療費助成制度があるが、特定不妊治療制度は、体外受精等を対象としているため一回の平均負担額は約39万円と高額。少子化の本町としては、本当に欲しくても子供ができない夫婦のため十

分検討していきたい。

問 開作松ヶ崎地区の雑木・竹林の被害対策は？

答 (町長) 昭和57年に県事業で急傾斜地崩壊対策事業として実施されたが、擁壁裏の雑木、竹林が大木化し民家に被害を与えている。用地内にある支障となる雑木、竹林の処理予算を要望していく。

問 開作水車地区急傾斜地の早急な対応を。

答 (町長) 地元関係者の対策工事に対する同意が得られれば、事業化の可能性について検討したい。

問 開作、水車周辺の護岸は痛みがひどく改修工事が急がれるが。

答 (町長) 被害が予想される箇所は、地盤の調査、護岸の工法を検討し、計画的に対応していきたい。

町政転流 (15) 貧困率って？

年の瀬になって「貧困率」という言葉を耳にした。昔からある言葉であったそうだが、大して問題にならなかったから気にもとめなかったのかもしれない。

TVによると児童の貧困率が約15%。実に7人に1人が貧困、つまりいつも空腹の状態。朝ご飯ぬき、昼は給食、夕飯もぬき。そんな生活が続いているという。親は両親とも仕事があったりなかったり、生活が全く安定していない。

私は昭和33年に生まれ、戦後復興から高度成長へ、日本がおそらく一番元気のいい時代に育ち、今日の繁栄を体験した訳である。

昨年、今年と二年続けての不況と、デフ

レスパイラルの中で、9月に自民党から民主党へと政権が交代した。本文を書くにあたり、前々日、小沢民主党幹事長から鳩山首相へ「子供手当の所得制限設定の要望」と「暫定税率存続」の申し入れがなされ、今朝のニュースでは首相は「子供手当」の所得制限は、社会全体で子供を育てるという観点から設定しない。「ガソリンの暫定税率という言葉はなくすが、新たな税を設定して今の税率を維持して行く事」を決めたいらしい。

広報が発行される時はどうなっている事やら…何はともあれ子供が飢えて困っている町にだけはしたくない。(平野)



2010年 新年の抱負



新年議長挨拶



議長 荒川 政義

新年明けまして
おめでとうござい
ます。

昨年の流行語大賞に「政権交代」が選ばれました。自民党から民主党へ、長期自民党政治の不満やいらだちから民主党へ大勝利をもたらしました。私達の生活が安心、安全な豊かな社会となればいいのですが…？

しかし、次々とマニフェストは変更され、普天間問題は迷走し、日米同盟はきしんでいます。安全保障やデフレスパイラルに陥った景気対策など、素早い対策が今こそ必要だと思っておりますが、不安で一杯です。政権交代から四ヶ月、結果を求めるのはまだ早いと思うのですが、少子高齢化の先進地である（う）、周防大島町の現在の生活水準を維持する為には、経済の成長、政治の安定が不可欠であります。

椎木町政の今年一年は厳しい年になりそうですが、今こそ私達が、一致団結してこの困難に立ち向かって行きたいものです。議会人の一人として心して行きます。



副議長 小田 貞利

地域格差のない
公平な行政サービ
スが受けられるよ
う努力します。



建設環境常任委員会

委員長 安本貞敏 常に初心を忘れず元気で頑張ります。

副委員長 松井岑雄 スウセイ どんな時代の趨勢にも、心こそ第一なり。本年も、捲土重来を期して!!

委員 田中隆太郎 朝に発意、昼に実行 町のために頑張ります。

杉山藤雄 「自己啓発」と「地域おこし」に日々の精進を重ねていきます。

神岡光人 皆さんの声を行政に！ 有言実行を果たすべく努力します。

久保雅己 人口減少の歯止めを図るべく努力します。



民生常任委員会

委員長 尾元 武 新年を迎へ今一度初心に返り町の発展に精進致します。

副委員長 今元直寛 おめでとうございます。今年こそ、屋代島の元氣再生元年としたい。

委員 広田清晴 国民要求の実現に向け、大島の皆様と共に頑張ってください！

中村美子 1年目の経験を大切にダンボの耳で声をきき 助け合って住み良い町に

布村和男 活気ある住みよい町づくりに頑張ります。

小田貞利 上記



総務文教常任委員会

委員長 魚谷洋一 ひきつづき、全力投球です。

副委員長 平野和生 白砂・青松をとり戻すべき行動を目ざしたい。

委員 新山玄雄 今年も力を合わせて、誰もが安心して暮らせる町をつくりましょう。

魚原満晴 勇猛果敢（勇氣と決断力）皆様との対話を大事に今年も頑張ります。

中本博明 ふるさと納税を積極的に働きかけて税収入を増やす努力をする。

平川敏郎 下門を恥じず粉骨碎身の精神で町政発展のために!!

荒川政義 上記

委員会行政視察研修報告

総

務文教常任委員会

交流人口増加へ！キーワードはハワイ!?



委員長
魚谷 洋一

実施日 平成21年9月30日～10月1日
視察地 福島県いわき市

「スパリゾートハワイアンズ」

瀬戸内海のハワイとして観光大島の発展を目指している本町にとって、ハワイを共通項とした国内の団体、施設との交流が重要となってきた。今回の視察地「スパリゾートハ

ワイアンズ」は、国内では有数のハワイ素材を活かしたパイオニアとして多くを学ぶことが期待でき、今日の成功に至った取り組み等の研修・視察を実施した。

昭和30年代後半から、エネルギーの主役は、石炭から石油に変わり、本州一の炭田であった常磐地方の状況は一変してしまった。この状況を救ったのが、石炭掘削の妨げとなっていた「温泉」であった。坑内から湧出する温泉の地熱と、豊富な湯量を利用することで、東北の地でも一年間温暖な空間が創出できるとして、

昭和41年「常磐ハワイアンセンター」が炭鉱時代じゃまだあった湧水の温泉を利用し、「夢の島ハワイ」をイメージした日本初のテーマパークとしてオープン。平成2年「スパリゾートハワイアンズ」へ。また、昭和40年には、日本で初めてのフラメンコ・ポリネシア民族舞踏の各種学校として「常磐音楽舞踏学院」を設立し、専属ダンサーを養成している。現在では、年間150万人以上の来場者があり（宿泊38万人、このうち90%がリピーター）、来場者の7割が東京都、千葉県、埼玉県、栃木県など。年間売り上げは、130億円。このように、地理的に恵まれており、規模的に本町とは大きな差があるが、今日の成功に至るまでの発想や行動は大いに参考になった。

地域の活性化や振興を促進するための発想や行動には、強いリーダーシップが必要であるが、地域全体で盛り上げなければ、何事も目標の達成は難しいということである。今後町発展のために今回の研修を活かしていきたい。

建

設環境常任委員会

生きがいの持てる産業への取り組み！



委員長
安本 貞敏

実施日 平成21年9月29日～30日

視察地 福岡県小郡市「JAみい農協」

視察地 山口県下関市「唐戸市場」

今回の研修は「地産池消」が叫ばれる中、本町の地産池消は学校給食に、あるいは朝市などの展開がなされているが、いずれも小規模である。生産者が生活の糧とするにはほど遠い現状である。生きがいの持てる将来性のある農業、

漁業の先進地として両地域の視察を行った。

「JAみい」は肥沃な平坦水田地帯で農業条件としては最適であり、流通にも恵まれ、46市場と市場外流通63社へ出荷をしている。

小物野菜から重量野菜に至るまで幅広く生産されている。

唐戸市場においては、お客様との交流を大事にし、信頼関係の構築に最大努力をしている。



民

生常任委員会

最先端の緊急医療体制を視察！



委員長
尾元 武

実施日 平成21年10月5日～6日

視察地 熊本県上天草市「上天草総合病院」

福岡県北九州市「新小文字病院」

大島病院の完成を前に、周防大島町の医療・病院運営の在り方等について先進施設を視察し本町に相応しい医療のあり方を考えることを目的とし、また、へき地・離島における救急医療体制の確保の観点から、民間医療施設が運営しているドクターヘリ（ホワイトボード）について視察研修を実施した。

最初に、平成16年に合併した事により、郊外となった上天草総合病院では市全体の病院として位置付けるのにかなり苦勞し、その対応として企業局は職員を地元に行事に徹底して参加させ、地域に「病院の必要性」

を理解してもらう努力をしてきた。現在では婦人会からタオル洗い等の手伝いをして頂けるまでになった。

第二の視察地「新小文字病院」（北九州市門司）では最先端の緊急医療体制とその現状を体験・視察し注目のホワイトボードについて説明を受けた。医療財団法人池友会の4病院で導入している患者輸送ヘリは、宗像市より半径250kmを運行範囲とし、周防大島町もその範囲にある。ヘリには医師及び看護師が乗務しているので一定の処置が即可能である。要請は医師の判断でなされる。周防大島町との連携では離着陸場として、東和病院は陸上競技場、橘病院では隣接する運動場が可能との報告があった。緊急時対応も安心であり、加えて負担金は無いとの説明も受けた。現在、本町も安心安全な町づくりの一環として前向きに導入を検討している。

契約関係

6件の動産の買入れ契約と1件の工事請負変更契約の締結を承認

購入物品	入札執行日	入札社数	落札会社	入札金額(消費税込)	比率
塵芥車(パッカー車)	H21年12月2日	6社	山下モータース	997万5,000円	87.9
消防団積載車	H21年12月2日	8社	(有)中本モータース	876万7,500円	94.9
消防団多目的積載車	H21年12月2日	9社	杉山モータース	840万円	96.4
校務用パソコン(147台)	H21年12月2日	5社	(有)ふくや	1,449万627円	76.7
パソコン機器(中学用)	H21年12月2日	4社	(有)中谷事務機	1,941万1,350円	82.5
電子情報ボード	H21年12月2日	3社	(株)周南コンピュータ	683万5,500円	50.5

工事名	契約会社	原契約	変更後の金額
防災行政無線施設整備工事(変更)	P・ジャパン(株)中国社	6億7,809万円	6億6,718万2,600円

陳情・要望・第5号

●平成22年度市町予算編成に際しての商工会助成についての要望

提出者 山口県商工会連合会(議員配布)

●議員発議

- ・国家行政組織が地域の声に耳を傾け、行政に反映する仕組みの保障を求める意見書

提出者 魚谷洋一

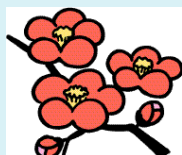
賛成者 魚原満晴、尾元 武、安本貞利

議員派遣の件

行事内容	日程	開催地	参加議員
東京久賀倶楽部	1月17、18日	東京	平川敏郎
東京たちばな会	2月21、22日	東京	安本貞敏
関西橘町人会	3月 14日	大阪	中本博明

編集後記

昨年11月19～20日に北九州市議会、福岡市議会に広報議員研修と、山口市での山口県市議会広報研修会に参加しました。福岡市、北九州市両市とも議会だよりの「点字版、テープ録音版」を発行しておりました。ここまで徹底した住民への気配りに感心するばかり。しかし大都市ならではのサービスではないだろうか。小さな町は小さな町なりのサービスを模索する必要がある。新年度は少し内容を変えて発行したいと思います。こう御期待を！(平野)



委員 小田 貞利	委員 尾元 武	委員長 平野 和生	副委員長 魚谷 洋一	委員 安本 貞敏	委員 布村 和男
----------------	---------------	-----------------	------------------	----------------	----------------